

## 連続オンラインワークショップ (全3回)

# 武人たちのユーラシア——越境・征服・統合——

前近代のユーラシアで継起し、広域・多様な地域・集団を統合した「帝国」。その形成・運営の担い手たる「武人」すなわち軍事エリート・武力集団はどのような存在であり、彼らと王権・政治社会との関係は、いかなるものであったか。このワークショップでは、さまざまな時代でユーラシアの東西を横断的に捉え、武人の姿を比較検討する。第1回は、16-17世紀に〈武〉を原動力として巨大統合と長期支配を現出したサファヴィー・ムガル・大清の三帝国を取り上げ、従来の研究分野の壁をこえて「帝国を築き、動かす武人たち」の諸相を見渡したい。

## 第1回：5月7日(土) 「帝国を続ける武人たち」

13:30-13:40 趣旨説明

13:40-14:20 前田 弘毅 (東京都立大学)

「サファヴィー帝国の「奴隷軍人」——二人のグルジア武人の生涯から」

14:30-15:10 真下 裕之 (神戸大学)

「ムガル帝国の武人たち——マンサブダールという生き方」

15:10-15:50 杉山 清彦 (東京大学)

「八旗制下のマンジュ旗人と王権——大清帝国を築いた武人の家」

16:00-16:20 コメント

鈴木 直志 (中央大学)

16:20-17:00 討 論

開催方式 オンライン方式 (Zoom)

参加方法 事前申し込み制：申込 URL <https://onl.la/PNBzNwH> (申込締切：5月5日(木))

申し込まれた方に、事前にミーティング URL・報告資料 URL を電子メールで通知します。

問合せ先 bujinws@gmail.com (科学研究費補助金基盤(A)「前近代ユーラシア世界における広域諸帝国の総合的研究：移動する軍事力と政治社会」(19H00535) 研究代表者：杉山清彦)

前近代のユーラシアでは、広域・多様な地域・集団を統合する政体——「帝国」が数多興亡してきました。そしてその形成と運営の中核には、洋の東西を問わず、武を掌る個人や集団、すなわち「武人」の存在が看取されます。

この連続ワークショップでは、イスラーム王朝史、遊牧国家史、中国史など、ともすれば固定的な属性で輪郭づけられてきたこれまでの枠組みを取り払い、ユーラシアという巨大な空間を横断的に見渡して、各地における帝国形成・広域統合のメカニズムと、その担い手たる武人のありようを描き出すことを試みます。

焦点を合せるのは、広域統合の形成や再編がみられた7～9世紀、11～13世紀、16～17世紀という3つの時期です。それぞれの時代における王権と武人の諸相をユーラシアの東西をまたいで提示することで、従来の研究分野の壁をこえた立体的な比較が可能となるはずです。さらにヨーロッパ近世史、インド中世史、日本古代史のコメンテーターをお願いし、より鳥瞰的な視野からの議論を期していますので、ご専門にかかわらず、幅広いご関心からの参加をお待ちしています。

## 《連続ワークショップ プログラム》

### 第2回：6月11日(土) 「“武”の多様性——動乱と征服の時代」

柳谷あゆみ（公益財団法人東洋文庫）

「ザンギー朝を支え／奪う武人たち——シールクーフとアリー・クーチェク」

伊藤 一馬（大阪大学）

「北宋の軍事と武人たち」

船田 善之（広島大学）

「モンゴル帝国の南宋遠征軍を率いた武人たち」

〈コメント〉三田 昌彦（名古屋大学）

### 第3回：7月9日(土) 「「テュルク／ソグド・インパクト」の東西」

清水 和裕（九州大学）

「アシュナースとアフシーン——ビザンツ帝国にジハードをするテュルク武人とソグド武人」

山下 将司（日本女子大学）

「契苾と朱邪——唐帝国を支えた羈縻州首領たち」

鈴木 宏節（神戸女子大学）

「阿史那思摩——隋唐帝国に翻弄されたテュルク武人」

〈コメント〉山内 晋次（神戸女子大学）

開催方式 いずれもオンライン方式 (Zoom)

参加方法 各回ごとに事前申し込み制：申込 URL はそのつど告知します。

問合せ先 bujinws@gmail.com